

第 5 回審議会(9/18)意見の基本構想答申案への反映

NO	頁/行	意見	構想答申案への反映
1		<p>■全般</p> <p>・基本構想は、いかに<u>広範囲の論点にアクセントを付けて、県民にアピールするかが重要</u>である。</p>	<p>【考え方】</p> <p>・7つの重点政策に絞り込み、今後4年間に先駆的・重点的に取り組むこととしている。</p>
2		<p>・構想素案は難しすぎて、読むのが大変であった。例えば、滋賀県はこうする。市はこうしてほしい。国はこうしてほしいなど、もっと簡便にした方がよい。</p>	<p>・ご意見を踏まえて、文章を少なくするとともに、難しい用語には注釈を付けることとする。</p>
3		<p>・新聞でもビジュアル化で、イラストが増え、文字が少なくなっている。グラフや表を増やすなど、<u>文章を少なくした方がよい</u>。</p> <p>「また」、「さらに」などの接続詞がたくさんある。<u>文頭に接続詞がくることはなく、抜いた方がよい</u>。</p>	<p>・ご意見を踏まえて、できる限り文章を少なくするとともに、文頭の接続詞は削除する。</p>
4	P2/L3	<p>■時代の潮流と課題</p> <p>・<u>現基本構想からどのような変化があったのかが分かりにくかった</u>。</p>	<p>・次のとおり修正する。</p> <p>【原文】</p> <p>本格的な人口減少社会の到来と少子化・高齢化の進行、東日本大震災等を契機とした大規模な地震災害とエネルギー政策などへの不安の高まり、これまでに経験したことのない異常気象による水害・土砂災害の恐れ、経済・社会のグローバル化の進行など、時代の大きな転換期を迎えています。</p> <p>【修正】</p> <p><u>平成 23 年(2011 年)3 月に「滋賀県基本構想」を策定し、滋賀の強みを活かした施策を展開してきましたが、本格的な人口減少社会の到来と少子化・高齢化の進行、東日本大震災等を契機とした大規模な地震災害とエネルギー政策などへの不安の高まり、これまでに経験したことのない異常気象による水害・土砂災害の恐れ、経済・社会のグローバル化の進行など、「滋賀県基本構想」策定後の本県を取り巻く情勢は大きく変化しており、時代の大きな転換期を迎えています。</u></p>
5	P7/L26	<p>■4 経済のグローバル化と本県の産業の動向</p> <p>(2) <u>本県の産業の動向と振興を図るべき産業</u></p> <p>・グローバル化は大企業の課題であり、小規模・零細企業にはあまり関係がない。基本構想で滋賀らしさは環境の琵琶湖くらいである。地域コミュニティの希</p>	<p>・ご意見を踏まえて、次のとおり修正する。</p> <p>【原文】</p> <p><u>そして、本県経済を牽引する産業の振興を図るため、滋賀の強みを生かして新たな価値の創造や変革といったイノベーションを通じた産業の振興と雇用の創出を促進するとともに、競争の激化等の構造変化の影響を受けやすい中小企業、とりわけ小規模企業の活性化のための支援強化が求めら</u></p>

第 5 回審議会(9/18)意見の基本構想答申案への反映

NO	頁/行	意見	構想答申案への反映
		<p>薄化が進行する中、小規模企業は地域活性化のため努力し、地域コミュニティを支えている。<u>地域の活性化には小規模・零細企業の力が必要であり、「時代の潮流と課題」で「小規模企業の活性化のための支援強化」だけでなく、もう少し丁寧に書く必要がある。</u></p> <p>・構想全体をみると、県民の視点から描かれているが、納税者である企業の視点からは描かれていない。例えば、被災時においてもビジネスが継続できるよう支えるなどの政策を描く必要があるのではないか。</p>	<p>れています。</p> <p>【修正】</p> <p><u>本県の中小企業・小規模事業者は、地域の経済や社会の担い手として、生産や消費活動、さらには雇用や地域づくりなどの面において、重要な役割を果たしています。</u></p> <p><u>中小企業・小規模事業者を取り巻く状況を見ると、人口減少や少子高齢化によって生産活動を支える労働力や国内需要が減少し、ライフスタイルや意識の変化によって消費行動は変化しています。さらには、アジア等の新興国の台頭や急激な円高により、コストダウンの圧力が高まり、産業の空洞化なども懸念され、また、災害時における産業活動継続のための計画策定など自然災害等に対する危機管理も課題となっています。</u></p>
6	P8/L9	<p>■(3)様々な役割を担う農林水産業</p> <p>・農林水産業は人口減少の影響を大きく受けており、担い手不足が課題となっている。<u>人口減少による深刻化を書き込む必要があるのではないか。</u></p>	<p>・最後の段落で、人口減少や高齢化の進行により、担い手の確保が困難であることに触れている。</p>
7	P8/L20	<p>■5 エネルギーをめぐる社会情勢の変化</p> <p>・結論だけではなく、<u>災害時、平時、夏場のピーク時などの具体的な論点を説明する必要がある。</u></p>	<p>・ご意見を踏まえて、次の段落をとおり追加する。</p> <p>【追加】</p> <p><u>特に、夏場や冬場のピーク時における安定的な電力確保や災害時における代替エネルギーの確保などが問題となっています。</u></p>
8	P15	<p>■基本理念</p> <p>・この 20 年間の我が国の経済成長率は年 0.9%であったが、県政モニターアンケート調査結果では 77%の県民が豊かであると感じている。<u>社会は成熟期に到達しており、その中で、豊かさの中身を充実させていくことが必要である。</u></p> <p>・2040年までは人口を増加させることはできない。このまま何も手を打たないと<u>もっと人口が減少し続ける。このトレンドをいかに止めるのか、基本構想で将来展望として問題提起する必要がある。</u></p> <p>・時代認識として、<u>県民が未だに経済成長が期待できると誤解することがないように徹底することが必要である。</u></p>	<p>・ご意見、審議会での審議を踏まえて、次のとおり修正する。</p> <p>【原文】</p> <p><u>「豊かさ実感・滋賀」</u></p> <p><u>～みんなでつくる夢・希望に満ちた社会へ～</u></p> <p><u>時代の大きな転換期において、今を生きる私たちは、これまでの人口増加による経済成長を前提とした社会づくりから転換し、暮らし方や生き方など従来の価値観を見直していくことが求められています。</u></p> <p><u>こうした認識のもと、将来のことも考えながら行動することにより、将来に対する安心や希望が生まれ、幸せや豊かさを実感して暮らしていくことができる滋賀をみんなで実現することを目指します。</u></p> <p>【修正】</p> <p><u>夢・希望に満ちた豊かさ実感・滋賀</u></p>

第5回審議会(9/18)意見の基本構想答申案への反映

NO	頁/行	意見	構想答申案への反映
		<p>・基本理念「豊かさ」に関して違和感はない。ただ、30年後に住む人の価値観と今の人の価値観は必ずしも一致しない。持続性を定義するならば、資源をはじめ、将来の世代が自ら豊かさを追究できる力を残しておくことが必要であり、そのようなニュアンスが必要である。</p> <p>・目指す姿は個々に見ると誰も反対できないが、トレードオフの関係にあるものもあり、どうバランスをとるのか、表現に工夫が必要である。</p> <p>・「将来のことも考えながら行動する」とあるが、目標が明確でなく、県民には分からないのではないか。今の豊かさがどう結びつくのか、イメージ図の矢印のベクトルが逆ではないのか。将来の豊かさはこういうものですかと書く必要がある。</p> <p>・今の豊かさを感じられるからこそ、将来の豊かさを感じられる。まず、豊かでないと感じている約2割の県民が滋賀で暮らして良かったと思えることが必要である。</p> <p>・基本構想は住民目線で掘り下げていることに重点を置いている。近江商人の「三方よし」に通じるものであり、「新三方よし」として「住んでよし、来てよし、日本によし」とまとめて、ブランド発信してはどうか。</p> <p>・「豊かさ」や「幸せ」という形のないものを伝えることは難しいが、基本理念に掲げることが良いことである。成熟社会が県民にどのように伝わるかが重要である。</p>	<p>～滋賀からみんなでつくろう！ 新しい豊かさ～ 本格的な人口減少社会の到来など時代の大きな転換期を迎え、これまでのような人口増加を前提とした経済成長が望めなくなる中、様々な課題への対応が十分できていないため、将来に対する不安感や閉塞感が広がっています。このため、将来に対する不安を安心に変え、夢や希望を抱くことができる豊かな社会を再構築することが求められています。</p> <p>滋賀には、これまでから時代とともに変化する様々な課題に向き合いながら、次世代のために美しい琵琶湖を守り続けてきた先人たちの歴史と伝統があります。この歴史と伝統に学びながら、滋賀の強みを活かし、次世代のことも考えた、新しい豊かさを追求します。</p> <p>現在の豊かさだけでなく、将来の豊かさを実現するために今なすべきことを、県民一人ひとりが考え、行動することで、夢や希望が生まれ、幸せや豊かさを実感できる滋賀の実現を目指します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">滋賀から みんなでつくる新しい豊かさ</p> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">「もの」の豊かさ</p> <p style="text-align: center;">「今」の豊かさ</p> <p style="text-align: center;">「自分」の豊かさ</p> <p style="text-align: center;">+</p> </div> <p style="text-align: center;">みんなが 将来も持続的に実感できる</p> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">「心」の豊かさ</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">県民一人ひとりが考え、行動することで、 豊かさ実感・滋賀を実現</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">「5つの目指す姿」</p>
9	P15	<p>・基本理念と目指す姿は同じではないか。表現が適切であるのか検討が必要である。基本理念の次は基本目標となるのではないかと。</p>	<p>・目指す姿は、基本理念のもとに、「こうありたい」と願う姿を県民からの提案も踏まえながら、より具体的に描くようにしている。基本目標に近いものと考え、県民がイメージしやすくするため、目指す姿として整理することとしている。</p>

第5回審議会(9/18)意見の基本構想答申案への反映

NO	頁/行	意見	構想答申案への反映
10	P16-20	<p>■目指す姿</p> <p>・基本理念や目指す姿において、もう少し<u>滋賀らしさが分かるキーワードを入れる</u>とよい。</p>	<p>・ご意見を踏まえて、目指す姿の全般にわたり、滋賀らしさを加筆修正した。</p> <p>例)</p> <p>(2)地域の活力</p> <p>② <u>環境保全と経済発展が両立し</u>、国内外の課題解決に貢献する成長産業が振興しています。</p> <p>④ <u>琵琶湖をはじめとする自然や歴史・文化などの豊かな地域資源を活かした観光が展開され</u>、国内外からの観光客でにぎわい、地域が活性化しています。</p> <p>など</p>
11	P16/L9	<p>■(1)「ひと」</p> <p>・目指す姿で「暮らし」とあるが、経済を含め全部が「暮らし」ではないか。「<u>生き方</u>」など言葉を置き換えた方が<u>良い</u>のではないか。</p>	<p>・ご意見を踏まえて、次のとおり修正する。</p> <p>【原文】</p> <p>(1)「暮らし」</p> <p>【修正】</p> <p>(1)「ひと」</p>
12	P16/L10	<p>■目指す姿</p> <p>・<u>つながりや絆は暮らしの豊かさを実感させてくれる</u>ものであることから、目指す姿「誰もが自らの能力を発揮する」の目指す姿では、<u>個々の視点だけでなく、つながりや絆を表現する必要がある</u>。</p>	<p>・ご意見を踏まえて、次のとおり修正する。</p> <p>【原文】</p> <p>誰もが自らの能力を発揮し活躍する、夢と希望に満ちた滋賀</p> <p>【修正】</p> <p><u>互いに支え合い、誰もが自らの能力を発揮し活躍する、夢と希望に満ちた滋賀</u></p>
13	P16/L14	<p>・子どもの教育に関して、基礎的な学力も必要であるが、<u>小さい頃から滋賀が好きになるため、歴史や文化、地域の伝統などに触れる機会が必要</u>である。</p>	<p>・ご意見を踏まえて、次のとおり修正する。</p> <p>【原文】</p> <p>③ <u>子どもが健やかに成長し、たくましく生きる力を育てています</u>。</p> <p>【修正】</p> <p>③ <u>子どもの確かな学力、豊かな心、健やかな体と、自然や地域に愛着をもって共生する力が育てられています</u>。</p>
14	P17/L5	<p>■(2)「地域の活力」</p> <p>・滋賀らしさと経済活力の向上には3つポイントがある。</p> <p>①<u>滋賀県は環境立県として、環境と経済の両立に取り組んできた。トレードオフの関係ではなく、前向きな夢のある取組であり、さらに推し進める必要がある</u>。</p> <p>②<u>農業の活性化に取り組むことで滋賀らしさを発揮できる</u>。</p> <p>③<u>グローバル化が進展し、アジアをはじめ各国が成長しており、マーケットの開拓だけでなく、インバウンドで観光客をいかに受け入れていくかがポイント</u>であ</p>	<p>・1点目は重点政策3の施策2で、2点目は1つのポイントについては、重点政策5の施策1で、3点目は重点政策3の施策1で取り組むこととしている。</p> <p>・なお、ご意見を踏まえて、目指す姿を次のとおり修正する。</p> <p>【原文】</p> <p>② <u>国内外の課題解決に貢献する成長産業が振興しています</u>。</p> <p>④ <u>地域資源の魅力を活かした観光が展開され、地域が活性化しています</u>。</p> <p>【修正】</p> <p>② <u>環境保全と経済発展が両立し、国内外の課題</u></p>

第 5 回審議会(9/18)意見の基本構想答申案への反映

NO	頁/行	意見	構想答申案への反映
		る。	解決に貢献する成長産業が振興しています。 ④ <u>琵琶湖をはじめとする自然や歴史・文化などの豊かな地域資源を活かした観光が展開され、国内外からの観光客でにぎわい、地域が活性化しています。</u>
15	P17/L7	・目指す姿「滋賀の力を伸ばし、活かす、誇りと活力に満ちた滋賀」に関して、 <u>誇りと活力は、作る側だけでなく、使い手側にも必要</u> であり、県民の意識を変える、デザインする必要がある。これまでと違った視点を問題提起することも必要である。	・ご意見を踏まえて、目指す姿を次のとおり修正する。 【原文】 ③ <u>地域資源を活用した魅力ある地場産業が展開されています。</u> 【修正】 ③ <u>地域資源を活用した魅力ある伝統工芸や地場産業に誇りを感じ、その価値が全国に向けて発信されています。</u>
16	P17/L13	・従来、農業は産業として位置づけられていたが、「5 ブランドづくり」で、今回、産業ではなく、地域づくりと一体で政策に位置づけたのは良いことである。その中で、目指す姿⑥と⑦は、トレードオフの関係にあり、バランスをどうするのか検討が必要である。	・トレードオフの関係は必要な視点であることから、具体の施策展開において検討していくこととする。 ・ご意見を踏まえて、目指す姿を次のとおり修正する。 【原文】 ⑥ <u>魅力あふれる滋賀らしい農林水産業が各地域で展開されています。</u> ⑦ <u>農山漁村の持つ多面的機能が発揮され、活力のある農山漁村が次世代に引き継がれています。</u> 【修正文】 ⑥ <u>魅力あふれる滋賀らしい農林水産業に、意欲あふれる担い手が生き生きと取り組んでいます。</u> ⑦ <u>持続的な生産活動により地域資源が維持保全されることで、農山漁村の持つ多面的機能が発揮され、活力のある農山漁村が次世代に引き継がれています。</u>
17	P21	■3 基本構想の推進 ・絵に描いた餅とならないようにするため、 <u>目指す姿を実現するための手段が必要</u> ではないか。	・目指す姿を実現するため、重点政策編で目指す方向性を整理し、実施計画を策定した上で、具体的な事業を展開することとしている。また、重点政策以外の事業は、基本構想を踏まえて、各分野の基本計画に基づき展開することとしている。そのことについて、「3 基本構想の推進」で記述している。

第5回審議会(9/18)意見の基本構想答申案への反映

NO	頁/行	意見	構想答申案への反映
18	P21/L3 P22/L18	(1) 基本的な考え方 ・人口減少社会において、豊かさを実感するためには、市町との連携が重要になる。市町との連携をもう少しクローズアップした方がよい。	・「3 基本構想の推進」および「第4 行政経営方針」において、市町との連携強化していくことを記述している。
19	P21/L5	・滋賀県は国全体の縮図であり、 <u>地域間格差の是正について書き込む必要がある</u> のではないかと。	・ご意見を踏まえて、次のとおり修正する。 【原文】 さらに、本県を取り巻く情勢の変化に応じて、弾力的に施策を展開するとともに、基本構想の見直しが必要となった場合は柔軟に対応します。 【修正】 さらに、本県を取り巻く情勢の <u>変化や地域の実情</u> に応じて、弾力的に施策を展開するとともに、基本構想の見直しが必要となった場合は柔軟に対応します。
20	P23/L6	第2章 重点政策編 ■前文 ・滋賀県は全国に先駆けて取り組んできたDNAがあり、県庁として後世につなげてもらいたい。重点政策として「県庁の政策のイノベーションをさらに発展させていく」とあってもよい。公務員志望の人が、滋賀県庁に行きたいと思うようになると、それも1つの成果指標となる。県庁の仕事が評価されていることを遠慮せずに発信してもらいたい。	・ご意見を踏まえて、前文に次の文章を追加する。 【追加】 <u>本県は、環境や福祉の分野を中心に、国に先駆けた政策を展開し、全国をリードしてきた歴史があります。</u> <u>重点政策を具体的な施策として展開していくに当たっては、そのような先駆けの精神を特に重視していきます。</u>
21	P26-P38	■評価指標 ・全体として、市町との役割分担が不鮮明である。県の構想であり、県域レベルでの公共財の提供が基本である。市町との役割分担を意識して、市町の役割が大きい指標は、なるべく避けるか、工夫が必要である。	・ご意見を踏まえて、市町の役割が大きい指標は、なるべく避けることとする。 なお、指標はその分野領域を包括するアウトカム指標をできる限り選定する。
22	P25	■1 子どもの生きる力を育み、若者や女性が輝く社会の実現 ・「子どもの生きる力を育む」という視点は大事。 <u>たくましく生きる力をどうして作っていくのか</u> を見えるようにすることが必要である。お金を大事にできるのは、汗をかいてようやくお金を得ることができると分かるからである。 <u>身に付けるための仕組み</u> を作ってもらいたい。	・重点政策1において、「子どもの生きる力」を育む施策に重点的に取り組む。また、具体の施策展開にあたり、実施計画で検討していく。

第5回審議会(9/18)意見の基本構想答申案への反映

NO	頁/行	意見	構想答申案への反映
23	P27	<p>■2 すべての人に居場所と出番があり、最期まで充実した人生を送れる社会の実現</p> <p>・「すべての人に居場所と出番がある」という視点は大事。お年寄りが社会のために役に立つことが必要であり、そのためには、<u>目指す方向として、「心の健康づくり」が必要である。</u></p>	<p>・重点政策2で「すべての人に居場所と出番がある」施策、「心の健康」づくりに重点的に取り組む。</p>
24	P30/L2	<p>3 滋賀の強みを活かし、新たな強みを生み出す滋賀発の産業の創造</p> <p>■目指す方向</p> <p>・グローバル化により大企業が海外に移転し、その影響を受けている中小企業に勤める者にとっては、「グローバル化」という言葉は不安に感じる。海外に移転してもよい部分と地域にあるべき部分を書くと県民にわかりやすく伝わる。</p>	<p>・P29の重点政策3の目指す方向の1つ目において、産業分野の特性に応じた事業活動の活性化支援に取り組むとともに、また、海外企業とのビジネスマッチングの支援、海外諸国での円滑な事業展開に取り組むこととしており、国内と海外の両面で記述している。</p>
25	P31	<p>■4 琵琶湖をはじめとするめぐみ豊かな環境といのちへの共感を育む社会の実現</p> <p>・「豊かさ」は個人により感じ方が違うが、滋賀は恵まれていて豊かであると思う。都会では屋上を緑化しているが、滋賀では自然を壊している。豊かさをなくす前に維持することが必要である。</p>	<p>・自然環境の保全は重要であることから、重点政策4で重点的に取り組む。</p>
26	P33/L24	<p>■目指す方向</p> <p>・重点政策5のブランドの発信に関して、目指す方向の2つ目に関して、「食」のブランドだけでなく、衣食住すべてのブランド化をしてはどうか。</p>	<p>・ご意見を踏まえて、次のとおり修正する。</p> <p>【原文】</p> <p>○ <u>環境こだわり農産物をはじめとする滋賀ならではの農林水産物の流通・販売を促進することにより、「滋賀・びわ湖ブランド」の一つとして、食のブランド力の向上を図るほか、地産地消の取組を推進します。</u></p> <p>【修正】</p> <p>○ <u>環境こだわり農産物をはじめとする農林水産物の流通・販売の促進や地産地消の取組を進めるとともに、「滋賀・びわ湖ブランド」として、滋賀ならではのブランド力の向上を図ります。</u></p>
27	P37/L22	<p>■7 人や「もの」が行き交う活力ある県土づくりと安全・安心社会の実現</p> <p>・滋賀の強みとして「<u>地の利</u>」はポテンシャルの高さはある。しかし、使い切れて</p>	<p>・ご意見を踏まえて、目指す方向の1つ目に、次のとおり修正する。</p> <p>【原文】</p> <p>○ <u>県内産業の活性化と地域間交流促進のため</u></p>

第5回審議会(9/18)意見の基本構想答申案への反映

NO	頁/行	意見	構想答申案への反映
		<p>おらず、その努力が必要であり、次期基本構想にいかにか反映するか検討が必要である。</p> <p>・目指す方向において、LRT等新交通システムを掲げるのは良いが、「環境の負荷が少ない」あるいは「まちづくりとともに進める」などの記載が必要である。</p>	<p>の道路整備や、バス利用環境の維持・改善、<u>LRT</u>等新交通システムの検討など、地域を支える公共交通ネットワークの整備を推進するとともに、老朽化した社会資本の維持管理や更新を戦略的・計画的に進めます。</p> <p>【修正】</p> <p>○ <u>滋賀の「地の利」</u>を活かした広域交通のあり方の検討や、<u>県内産業の活性化</u>と地域間交流促進のための道路整備、バス利用環境の維持・改善、<u>まちづくり</u>とともに進めるLRT等新交通システムの検討など、地域を支える公共交通ネットワークの整備を推進するとともに、老朽化した社会資本の維持管理や更新を戦略的・計画的に進めます。</p>